

生活応援隊推進事業（ケアタウン構想推進事業）展開概要

平成23年8月29日

小田原市社会福祉協議会

1 趣旨

少子高齢化や核家族化の進行、ひとり暮らし高齢者等の増加に伴い、今までは家庭内で解決できていたことができなくなり、それが「生活するうえでの問題」になりつつあります。

こうしたことは、本市においても例外ではなく、ケアタウン構想に対して寄せられる市民の意見から「日常生活のちょっとしたお手伝いを望む高齢者世帯が多い」という現実があります。

そこで、「社会的に何らかの支援を必要とする方々を、従来の制度的な枠組みを超え、地域・行政・事業者が連携して一体となって支える仕組みの検討」というケアタウン構想の目指す方向性を具体的に推進し、すべての人が安心して暮らせる地域づくりを目指して、ボランティアを活用した日常生活支援活動を新たに実施しようとするものです。

- 2 実施主体（予定） 社会福祉法人 小田原市社会福祉協議会
東富水地区社会福祉協議会
NPO 法人 一粒の麦（ひつじの家）
合同会社 まち元気小田原

- 3 本事業の対象者 高齢者、障害者、子育て中の親などで日常生活で困りごとを持つ方

- 4 担 い 手 小田原市社会福祉協議会ボランティアセンターに登録しているボランティア
東富水地区の住民（東富水地区社会福祉協議会）
ひつじの家（地域活動支援センター）利用者
小田原百貨店（板橋・寿町店）
ヤオマサ（久野店）

- 5 サービス内容 ゴミ出し・買い物・電球交換ができない等の「ちょっとした困りごと」を支援

6 展開方法（別紙展開図参照）

- (1)小田原市社協が主体となり、サービスの受け手と担い手が会員登録をし、支援をする方法（実施に向けて調査中）
- (2)東富水地区社協が主体となり、新しい担い手を発掘しながら住民間で支援をする活動との連携及び一部協力（調査実施に向けて準備中）
- (3)精神障害者の地域活動支援センター「ひつじの家」の利用者が、ボランティアとして地域住民に対して買い物支援をする活動との連携及び一部協力（実施に向けて準備中）
- (4)合同会社まち元気小田原の目指す事業の一つである「利便性向上に資する事業（共同配送／宅配サービス）」との連携（試行店舗と調整中）
- (5)小田原市社協の各種事業（ボランティアセンター、介護サービスセンター、ファミリー・サポート・センター等）との連携

生活応援隊推進事業（ケアタウン構想推進事業）展開図

平成23年8月29日
小田原市社会福祉協議会

